

「簡易浸水センサ等を用いた浸水状況共有システムの現場実証」を 宮川(勢田川)流域で開始

1. 概 要

近年の度重なる大規模な豪雨災害の発生を踏まえ、洪水等の水防活動・防災業務、住民の早期避難行動を支援し、あらゆる関係者による防災・減災を推進することを目的として、新技術を活用した「簡易浸水センサ等を用いた浸水状況共有システムの現場実証」を宮川(勢田川)流域で、令和2年9月より開始します。

今年度は、伊勢市内に33箇所の簡易浸水センサ等を設置し、国・三重県・伊勢市の関係者間で浸水状況を共有できるシステムにより、実際の大雨や降雨時の浸水状況、排水施設の稼働状況などをリアルタイムで確認し、効果の検証等を行います。

現場実証を踏まえ、「宮川水系流域治水プロジェクト」のソフト(避難・水防等)対策として取り組んでいく予定です。

【参考】

平成29年10月台風第21号において、勢田川流域は既往最大降雨により広域で浸水被害が発生したことを踏まえ、国・県・市の三者でハード・ソフト一体となった「勢田川流域等浸水対策実行計画」を策定し、平成29年度より各機関で対策を進めており、このソフト対策の一つとしても今後、位置付けていく予定です。

2. 参考資料

- 別添－1：浸水状況共有システムの概要
- 別添－2：簡易浸水センサ等の設置位置図
- 別添－3：簡易型浸水センサ等の設置状況

3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ
伊勢記者会

4. 解禁： 令和2年9月10日 10:30

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
副所長 細野 貴司
調査課長 岡本 祐司
TEL 059-229-2211 FAX 059-229-2257

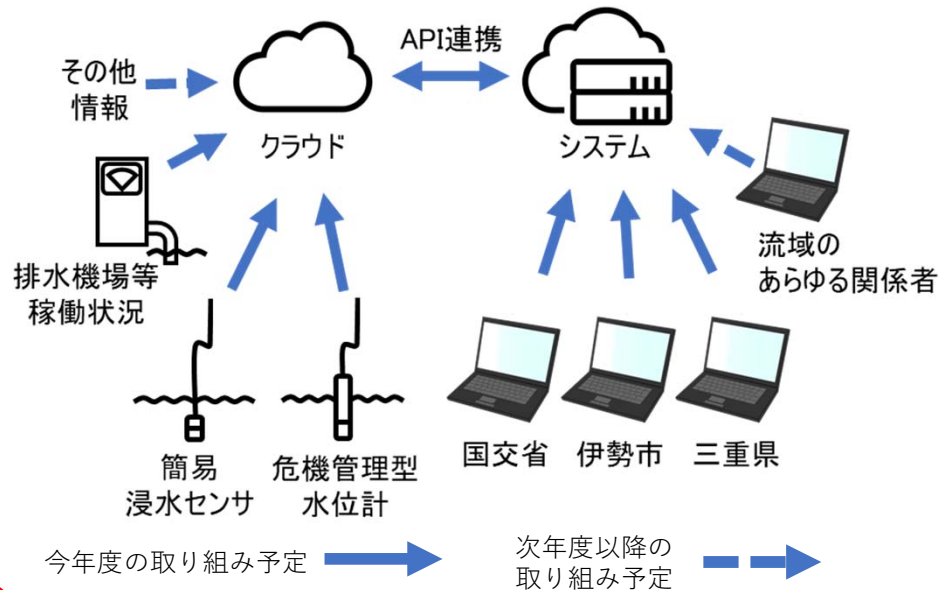


簡易浸水センサ等設置状況
(伊勢市内)

簡易浸水センサや危機管理型水位計等から浸水の発生・範囲を推定し、地図と一覧表形式で表示。

■システム構成

- クラウドサーバ上でデータ集約・表示



勢田川浸水状況共有システム

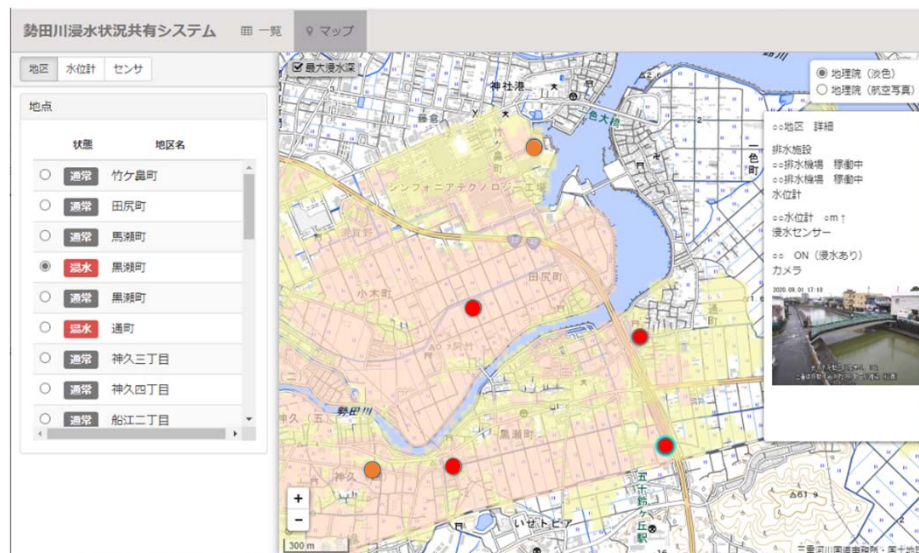
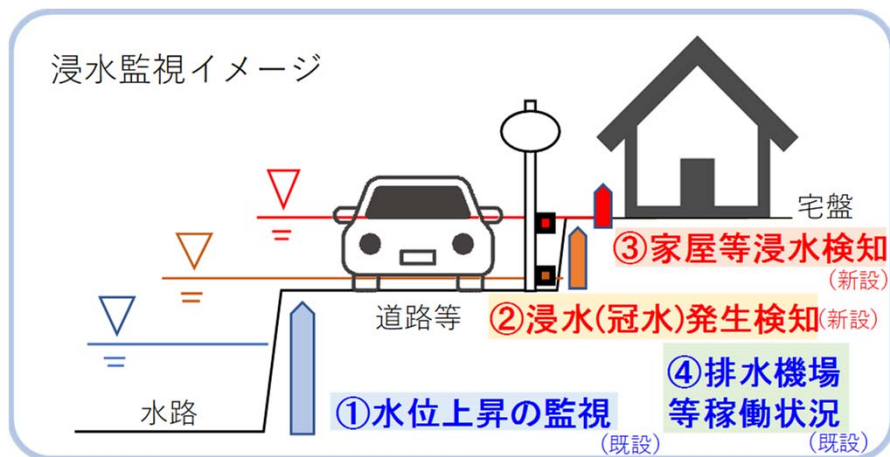
地点一覧

地区	種別	センサ名	状態	最新ログ
神社	水位	G水位計	稼働	2020/09/04 12:30 1.2m 上昇中
神社	浸水	H浸水	停止	2020/09/04 12:30 レベル1 検知
神社	排水	Iポンプ	停止	2020/09/04 12:30 停止
浜郷	水位	J水位計	稼働	2020/09/04 12:30 0.2m 下降中
浜郷	浸水	K浸水	停止	2020/09/04 12:30 レベル1 検知
有織	排水	Lポンプ	停止	2020/09/04 12:30 停止
有織	水位	M水位計	停止	2020/09/04 12:30 0.2m 下降中
有織	浸水	N浸水	停止	2020/09/04 12:30 レベル1 検知
有織	排水	Oポンプ	稼働	2020/09/04 12:30 停止
有織	水位	D水位計	停止	2020/09/04 12:30 0.2m 下降中

一覧表示イメージ (PC)

■浸水把握イメージ

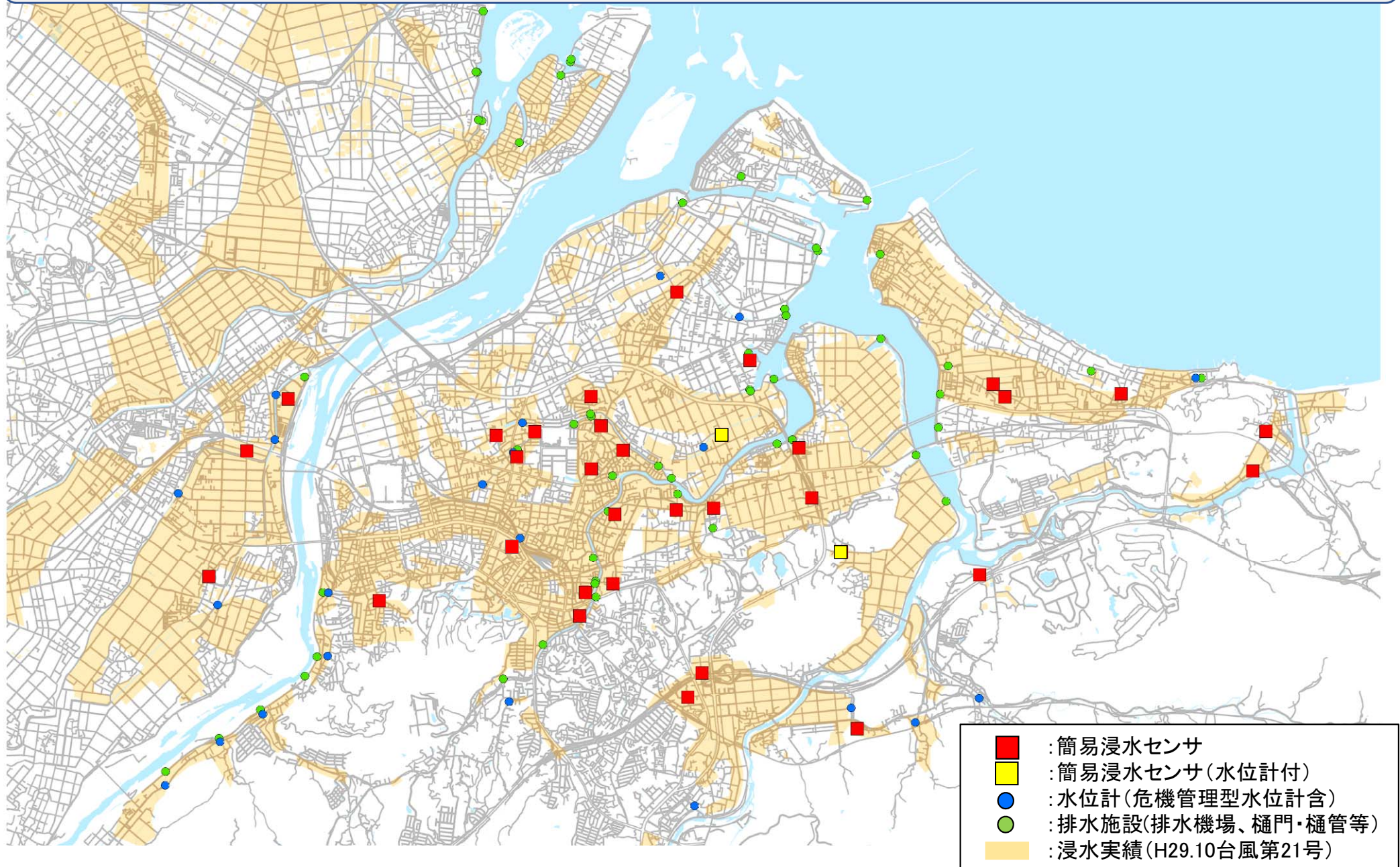
- 水位計と簡易浸水センサの組合せにより浸水状況を把握
- 標高データを用いて浸水範囲を推定



地図表示イメージ (PC)

簡易浸水センサ設置箇所位置図

宮川、勢田川流域など、伊勢市内に全体で33箇所設置。



※水位計(危機管理型水位計)・排水施設については、今年度は対応可能な施設のみ共有システムに反映予定

浸水センサ設置状況(伊勢市鹿海町地先) 【簡易浸水センサ・超音波式水位計 併設型】



IoT無線ユニット

超音波式水位計

簡易浸水センサ



IoT無線ユニット



超音波式水位計

危機管理型水位計が無く
状況把握が難しい箇所、精
度検証を行う箇所(2箇
所)に水位計を設置



簡易浸水センサ

浸水(ON/OFF)センサを2段に設置
上段：家屋浸水や避難困難と
なる浸水(30~50cm)を把握
下段：道路面等の浸水を把握